

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成30年度事業 点検・評価調書

4-I-7

4-I  
-7

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	案内標識の設置
	節 I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	7 遺跡案内表示の整備、充実	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
		関連団体	佐渡市観光振興課、佐渡市交通政策課
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	<p>【事業目的】 ○来訪者の円滑な移動に向けて、主に徒歩による遺跡への案内表示の充実を図る。</p> <p>【事業内容】 ○関係機関が連携して、遺跡案内版など案内表示の整備、充実を図る。</p>		
30 事業 計画 と 実績	<p>【30年度計画】 ●平成29年度に策定した史跡サイン計画(サインデザイン含む)に基づき、鶴子銀山等に解説・歩行者誘導サイン28基を設置する。</p> <p>【30年度実績】 ●鶴子銀山跡に解説・歩行者誘導・注意喚起等の33基のサインを設置した。</p>		
課題・ 今後の 取組	<p>【課題】 ■構成資産が広範囲に分布することから、効果的な箇所にサインを計画的に設置する必要がある。</p> <p>【今後の取組】 ■関係部署と連携しながら、必要とされる遺跡内容の解説や歩行者誘導等のサインをの設置を継続する。 ■史跡整備基本計画及び平成29年度に策定したサイン計画(サインデザイン含む)に基づき、令和4年度までに解説・歩行者誘導・注意喚起等の120基のサインを新たに設置する予定。 (4-II-1・解説パネル等の整備と連動、4-II-3・多様な説明媒体の整備) ・令和2年度 53基(上相川地区、大間地区) ・令和3年度 47基(上寺町・西三川地区) ・令和4年度 20基(吹上石切場跡、片辺・鹿野浦海岸石切場跡、戸地地区)</p>		
事業 評価	<p>【事業の達成度】 ◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。 [ a ・ <b>(b)</b> ・ c ]</p> <p>【事業実施の効果】 [ a ・ <b>(b)</b> ・ c ]</p> <p>【総合評価】 [ A ・ <b>(B)</b> ・ C ]</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。